



Attention!!

当本は…

- ・ 幻覚ト恋愛！
- ・ 下世話なセリフ
- ・ 公子の女関係描写
- ・ 回想に次ぐ回想
- ・ 小刻みに進撃するラブコメ…！

何でもお許し頂けますと
幸いです…！！！！

酔いどれの
おんなの
生き方

R18

来たね

先生と本気で
戦えるこの日を

待ってたよ





ただ戦っても
つまらない



☆
先生面白い事
言うね
いいよお



え？

何か賭けないか？





あー！
こーいうのって

お互い不利だと
感じるものがない
んだっけ？



じゃあ
何にしようか？

モラ：は別に
必要ないよね
俺も松うし

食べ物：鉱石……
ラーン



こう「えーっ」
てなるような……

……

身体

え？

勝
つたら

俺の：
身体？

公子殿の
身体を頂く




つまり
それは…

えっと…



まあいいや



先生と戦える
っただけで充分

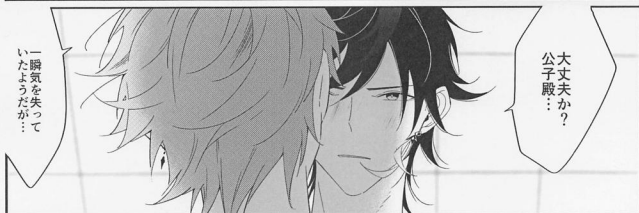
嬉しいからね

それじゃあ

行くー



「...」



先生…

いくら何でも
あんまりだよ…

本当に楽しみに
してたのに…

味わいもせずに
一撃で俺を
仕留めた挙句

もろにこんな
身体だけが
目当てだった
なんて！

最低…！！



天動万象！





まあな

え？

そうだったけど
先生はお酒も
強いよね！

また以前のように
一日酔いになるぞ



ちよつと
酷くない？

それにしても
先生さあ！

ん？



もう少し
して欲しかったよ

せつかくの
だつたのに

んむ



いきなり元素爆発
とかびっくりして
まともに食らって
ちゃったし

まあ、
負けは
負けだけどさあ

スッ



前戯の短い男は嫌われるよ？



それは今夜の



「激励」と取ってイイんだな？



あ

やっぱり「身体」
ってそういう事
だよな…



どうした
公子殿

はぁニツ
ベイス
早いッて

ん
先生ッ
待って

へミ

てつきり
リード権を
奪ったが？



このホッ
先生がそう
させないように
してるんッ！
でしょ

やばい！
香が過ぎた！
頭が
回らない

俺初めて
なんだから
早相手！！

ほう

公子殿から
「手加減」を
求められるとは

貴重だな

さっき撃けた
元素弾のせい
で、いまいち力が！

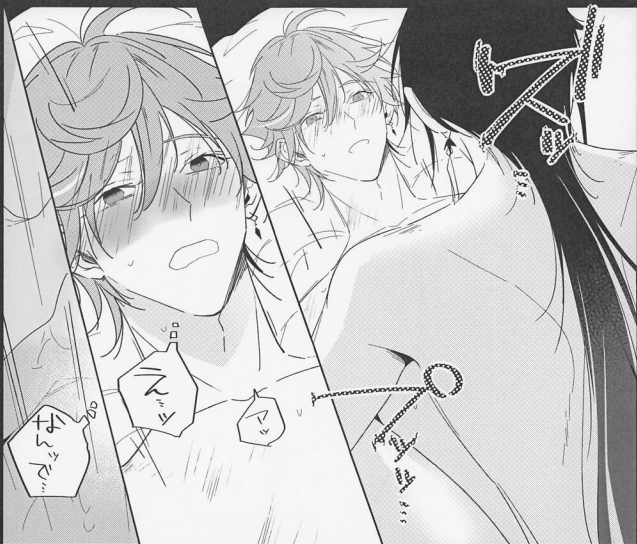
こんなに積極的な
先生が意外過ぎて……
動揺してる……

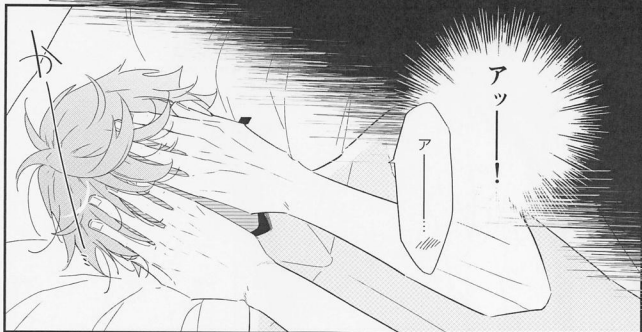


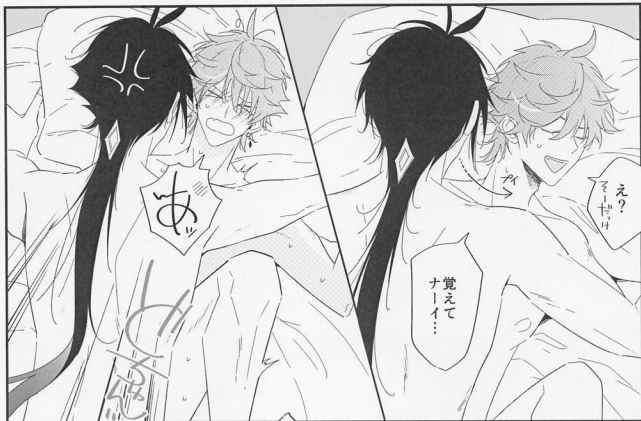




余裕ない...?
事なんてあるんだ







え？
そーだけ

覚えて
ナイイ…

イイ加減
抜いてよ！

そうだった
これは元々

俺が先生に
仕掛けた事だった

先生と出会って間もない頃…







それじゃあ

俺という凡人の

先生がまだ知らない
話をしてあげる

ほう？



俺：早いうちから


強者と戦う事
への探求心が生まれて

それ以来ずっと
変わらずに成長して


所謂

そういう事に
興味が無かつたんだ


…



経験がないわけじゃ
ないんだけど



その後も全く興味
が持たなくて：



もしかして俺って



不感症……
だったりして……

流石に男として
心配になってきた かも……



でも先生を初めて
見た時ね……

直感的に

あ俺

今のままじゃ この人に

そう思った瞬間に

勝てない

お

勃っちゃった

ホソッ



はははッ

じゃあもし先生が
この告白に応えて
くれる時が来たなら…

あ！告白って
とらえて
くれるの？

それは何とも
熱烈な告白だな

本気で勝負
しよう

先生が勝ったら
その時は……

俺の身体「も」
あげる！

その代わり……
俺が勝つたの

「クゥ……」
「クゥ……」

先生の……全部……
ちょうだい……

カク
カク

ふふ……
欲張りだな

覚えておしろ

あとがき

お手に取って頂き誠にありがとうございます！！

と、神を卒業した先生。凡人として、特に「人間」を学ぼうと試みるも…やはり先生の「圧倒的風格」には、人間の女性たちには敷居が高く、子供たちですらも近寄りがたい存在でした（突然始まる補足！！）そんな中、最も人間臭いアプローチ「効っちゃった」で近づいた公子に、先生はイチコロだったのです（チヨロい！）

しかし公子もまた「強い者が好き」な男。そんなアプローチをした事など、酔っていた事もありすっかり忘れ旅人との出会いもあり、より広い世界へと興味を示します。先生はそこで始めて…

「公子殿の心を自分に留めなければ…！」と感じ、「返事」という名の勝負に出ます。しかし…



公子はすっかり忘れていたようだったので…
速攻元素爆発！（容赦なし）

一方公子は、実は初めから記憶の片隅に、過去にアプローチをしていた事を覚えていました。しかし公子は、酔った勢いで言っちゃったし、先生に好意がある自分を何となく認められず、しらばっくれる事にしたという…！！

というわけで改めて…幻覚ド恋愛本…！お手に取って頂きありがとうございましたー！！

普段こんなに書かないのですが、、あまりに漫画までまっぴいなので、長い長い、イイウケです！！（全て幻覚）いや…いつも書いてるかもしれないです。

さておき、楽しんで頂けたでしょうか…？ まだまだ描き足りないので、またWEBや睿智等出たいです。次回は、公子の欠落した感情を荒療治で引っ張り出す先生、的なのを書きたいです。人間以上にまっとうに向き合ってくる先生に対し、向き合っているフリをしつつも先生にどンドン引っ張り出されて、動揺して欲しい…。

この原稿中へえっちベルト出て本当にびっくりしました。（反映出来なかった…）

それではまた…！ご興味ございましたら、お会い出来る事を願って…！

nanaga

Credit

『酔いどれ公子の告り方』

発行日：2022/08/28(日)

印刷：

GOOD COMIC CITY 28内 神ノ睿智 4

印刷：ポブルス様

Twitter：nanaga_OvO

pixiv：6985176

Address：nanatsumami@yahoo.co.jp



サ
ー
ラ
ル
知
は、
ハ
ン
ク
ス
☆